



DEN

No.15

2015.3.25
発行

作業療法を伝える
NEWS&COMMUNICATION

公益社団法人 大分県作業療法協会 広報誌



CONTENTS

心豊かに作業療法

- 1 教えて作業療法
- 2 まんが作業療法物語 ～緩和ケア編～
- 7 施設紹介：「臼杵市医師会立コスモス病院」
施設紹介：「大分県済生会日田病院」
- 9 青年海外協力隊に参加して感じたこと
- 10 大分県緩和ケア作業療法研究会の紹介
リレー・フォー・ライフ・ジャパン2014大分
- 11 啓発普及活動の紹介
- 13 以心DEN心
- 14 活動報告



教えて! 作業療法

がんのリハビリテーション 知っていますか？

がんの患者さんのリハビリテーションにおける 作業療法士の役割とは？

作業療法士は患者さんのがんの状態を踏まえて、身体機能や精神・心理状況、高次脳機能などの評価を行います。その評価結果から、日常生活で必ず必要となってくる「食事」「排泄」「着替え」などの動作練習や、仕事・学校生活などの社会との繋がりとなる能力の練習、リンパ浮腫への対策などを行います。

日常生活練習では、「今までと変わらない生活を取りもどす事を支援する」を目的に自助具の作成や、福祉器具の調整も行い残った能力を活用する事や、新しい能力の開発や代償能力の提案もしていきます。

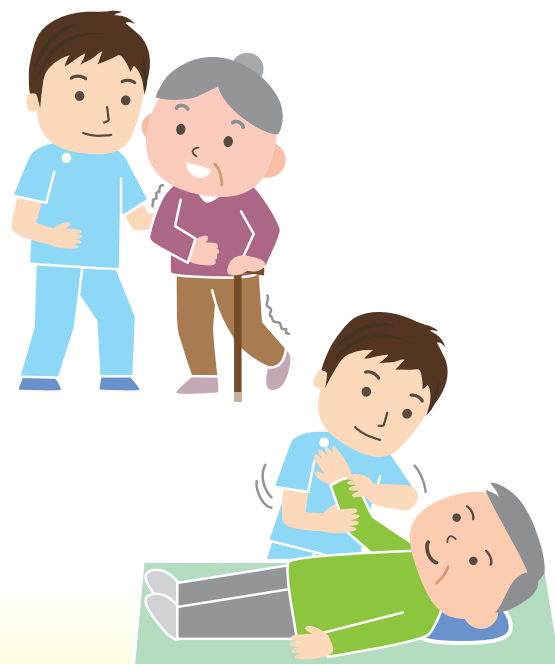
また、治療時期別の作業療法士の取り組みは以下の通りです。

① 予防的時期	呼吸リハや早期離床練習、術後の見通しや不安の改善を図る精神的ケア
② 回復的時期	筋力や体力低下等の機能障害に対する機能回復練習
③ 維持的時期	がんが進行した際も、運動能力の維持・回復を行い、自助具の使用や日常生活動作のコツ、セルフケア、廃用症候群の予防、精神的負担のケアを実施。
④ 緩和的時期	患者さんの要望を良く尊重し、身体的、精神的、社会的に、生活の質を高く保てるように援助を実施。

がんの患者さんのリハビリテーションは どこで受けられるのですか？

がんのリハビリを受けられる医療機関を探すときの一つの目安になるのが、2010年4月の診療報酬改定で新設された「がん患者リハビリテーション料」です。これは、がんの患者さんにリハビリを提供すると公的医療保険からその医療機関に報酬が支払われるという制度です。その要件として、規定の研修(がんのリハビリテーション実施ワークショップ)を修了したスタッフがリハビリに従事している事が定められています。

自分が暮らしている地域のがん診療連携拠点病院ががん患者リハビリテーション料を算定しているかどうか知りたい場合は、がん診療拠点病院に併設されているがん相談支援センターに問い合わせてみましょう。



まんが 作業療法物語

～緩和ケア編～



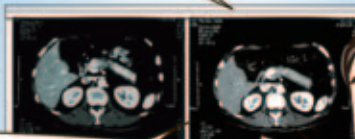
70歳のAさんは心不全で病院に入院し、精密検査ですい臓がんが見つかりました

Aさんのがんは手術で取り除くことが難しい状態です
他の臓器への転移も考えられます
まずは化学療法や放射線治療などを行っていきましょう

先生
どうか、よろしくお願い致します

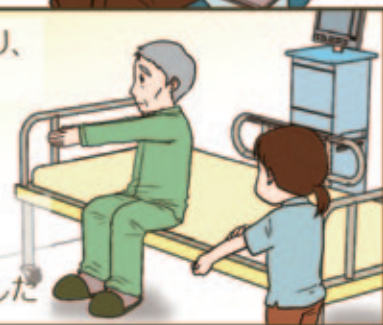
治療には、体力を必要とします
筋力や耐久性も落ちないように、
今から予防的なリハビリを行っていきましょう

治療中も低下した体力を回復させるためにリハビリは続けますよ



Aさんのリハビリテーションが開始となり、療子が担当することになりました

Aさんは不安な表情で笑顔はあまり見られませんが、リハビリには、積極的に取り組んでいました



そんなある日、作業療法士が病院内のレクリエーションで開催しているカラオケ大会のときでした

ざわっ



Aさん、すごく上手ですね
びっくりしました

そうですか？
わたしは詩吟の先生をしてたんですよ

へえ、そうなんですね

わあ!!
こんな笑顔初めて見たあ



心不全の治療を終えた A さんは退院しました

しかし、その数カ月後
A さんは右足に激痛を覚え再び入院となりました



A さんは右大腿骨を骨折しており、
その原因は、がんが骨盤から大腿骨にかけて転移し、
骨が弱っていたために起こったものでした



入院当初は骨折した部分に
体重をかけることができないため、ベッド上で身体が硬くならないよう各関節を動かしたり、
筋力が低下しないよう筋力トレーニングなどのリハビリを開始しました

そうか、動けなくて
退屈していたから嬉しいよ
ありがとう



ずっとベッドで横になっていると、
関節が硬くなったり、
筋力が低下してしまうので
少しずつ体を動かしていきましょう

療子は体を動かすこと以外にも、
不安を少しでも軽減できるよう
A さんと会話をする時間を大切にしました

定年退職してからですよ
それまでは
サラリーマンだったからね

いつから
詩吟の先生を
してるんですか？



もう歩けるようには
ならないだろうけど、
車椅子でもいいから
家に帰りたなあ



そうですね
少しずつできることを
増やしていきましょう

A さんは少しずつ、自分の病への不安や、
これからの希望など療子に話すようになっていきました



数日後、医師から右足に体重をかけないことを条件に
ベッド外でのリハビリを許可されました

Aさん、今日からは
このポータブルトイレを使って
トイレをする練習を
していきましょう

よし、
わかった

右足に体重をかけないように、
左足を軸にして回しましょう

Aさんは、家に帰って生活することを目標に
意欲的にリハビリに取り組みました

一カ月後、Aさんが自宅で生活できるのかを確認するため、自宅を訪問することになりました

緩和ケアでは、一時帰宅や外出など

自宅で過ごす可能性を探るために行われる場合も多くあります

療子はAさんが
自宅で車椅子生活ができるように
環境調整を行いました

段差があって、
車椅子のまま
上がるのは大変ね

そうですね
スロープを設置した方が
安心ですね
レンタルもできるので

ベッドの位置は、
車椅子が方向転換できる
スペースを確保しましょう

トイレまでは少し距離があるので
ポータブルトイレが
あった方が良いでしょう

たしかに
そうですね

それにしても…

この部屋からの景色は
とてもいいですね

この家はね、
退職してから建てたんですよ
余生を楽しもうと思ってね
いい風景でしょう

最後まで自宅で
過ごさせてあげたいな

訪問後は、自宅環境を想定したリハビリを行い、
ベッドから車椅子に移る動作や、



ポータブルトイレの手すりにつかまり立ちし、
ズボンの上げ下げをする動作を
獲得して이었습니다

また、家族には安全な
介助方法の指導を併せて行いました



しかし病は、日毎に A さんの体を蝕んでいきました
体調の優れない日が増え、
十分にリハビリを行うことが難しくなっていました



A さん、こんにちは
今日もよろしくお願いします

おお、療子さん
よろしく頼むよ

今日は、
少し顔色が悪いな



今日は気分転換に
散歩へ行きましょう

天気良くて
気持ちいいなあ



体調の優れない日は無理をせず、
散歩やカラオケなどを行いました



奥さんにちょっと
お願いがあるんですが...

体調が少し落ち着いたときに、医師から一時退院の許可が出ました

退院ができれば
生徒さんたちを
ご自宅に呼んで、

もう一度詩吟教室が
できないでしょうか？
よく嬉しそうに
話してくれるんです

そうね、でも
みんな集まって
くれるかしら



Aさんは、退院をして
自宅療養することになりましたが、

一ヶ月後、
状態が悪化し
再入院となりました

Aさん
こんにちは

おお、療子さん
また帰って
きちゃったよ

Aさんはベッドに寝たきりの状態で、
麻薬を使用し始めたこともあり、
意識がもうろうとしていました

怖かったですよね
奥さんも頑張って
こられたんですね

でもね、

療子さんに言われた通り、
詩吟教室を開いたわよ

生徒さんもみんな集まってくれて、
あんなに楽しそうな主人を見て、
私もうれしかったわ
ありがとう

できれば、
最後まで家で見て
あげたかったんだけど、
夜痛みに
苦しんでいる姿を見ると
怖くて

それからは
痛みで身体がこわばり、不安感も強くなるため、

すこしでもリラックスできるよう身体をさすったり、
ストレッチするなどしてリラクゼーションを図りました

ああ、
気持ちがいいなあ

入院10日目。Aさんは静かに息を引き取りました

緩和ケア期に入った患者さんには、体力が低下し昨日まで、できていたことができなくなる時期が必ず来ます

しかし、できないことが増えていく中でも、緩和ケア期の作業療法により、
やりたいことを引き出し、それを行っていくことで日々の生活の満足度が上がり、
病気による苦痛や不安を和らげることができます

より多くの方に、作業療法が認知され定着していくことが望まれています

おわり

作画：ヨギリリ <http://yogiriri.com>

臼杵市医師会立 コスモス病院

所在地：大分県臼杵市大字戸室字長谷1131-1
TEL 0972-62-5599

病床数：202床(一般157 地域包括ケア病床45)

診療科：内科、循環器科、呼吸器科、胃腸科、外科、
整形外科、脳神経外科、リハビリテーション科、
リウマチ科、肛門科、
放射線科、神経内科、麻酔科

対象疾患：リハビリテーションを必要とされるすべての方

関連施設：介護老人保健施設南山園、市民健康管理センター、コスモスケアステーション、
訪問看護ステーションコスモス、コスモス介護支援センター、地域包括支援
センターコスモス

職員数：作業療法士7名、理学療法士17名、言語聴覚士3名、助手3名

当院は臼杵市の地域医療支援病院です。二次救急および地域リハビリテーション広域支援センターの指定を受けている他、今年度からは地域包括ケア病棟(45床)を設置しており、予防の段階も含め、急性期から在宅まで、住み慣れた地域で包括的なリハビリテーションを提供しています。

当院はがん診療連携協力病院となっており、県内各地のがん診療拠点病院での治療を終えて臼杵に戻ってこられた対象者の継続的治療・支援を担っています。平成24年度には緩和ケアチームが発足し、現在リハ部からは作業療法士2名が所属しています。「がんリハ」の算定も開始され、心大血管や呼吸器リハで培った内部障害の作業療法知識を生かして患者さんの生きる(行き、粹、活き、意気、逝き)生活創りに取り組んでいます。

今後も、リレーフォーライフや交流会など、臨床場面以外の活動も含めて、がん患者さんへの支援を続けていきたいと思っています。



OT室訓練風景



緩和ケアチームの会議



家屋調査ではケアマネと情報交換をしながら行います



患者さんがベッド上で作成した作品



リレーフォーライフには毎年参加しています



記事担当者／小松由佳

社会福祉法人恩賜財団済生会支部 大分県済生会日田病院

所在地：大分県日田市大字三和643-7

TEL 0973-24-1100

施設情報：西部圏域の基幹病院として、急性期医療を
核に、地域の医療事情に対応した総合的診療

診療科：内科、心臓血管内科、脳神経外科、
リハビリテーション科など全22科

リハビリテーション施設基準：

運動器・呼吸器・脳血管・心大血管疾患リハビリテーション科

(※心大血管のみⅡ、他Ⅰ)

回復期リハビリテーション病棟入院料1・がん患者リハビリテーション科

職員数：400名(そのうち作業療法士9人・理学療法士16人・言語聴覚士2人)



リハビリテーション室



緩和ケア会議



作業療法部



緩和ケアチーム



園芸

「緩和ケアへの取り組みについて」

当院は、地域がん診療連携拠点病院に指定され、がん患者さんが、その状態に応じた適切ながん医療を受けることができるようがん診療連携拠点病院(がん患者さんの症状、状態及び治療方針などに関するカンファレンス)及び、がん化学療法委員会(化学療法の治療内容を審査し、組織的に管理するもの)を定期的に開催しています。また多職種から構成された緩和ケアチームが、がん患者さんの身体的苦痛や精神心理的苦痛、社会的苦痛などのスクリーニングや症状緩和に鋭意努めています。その中で作業療法士として、各種運動や日常生活の練習・住環境・福祉用具の検討・余暇活動の実施などを行うほか、上記の活動の場へ積極的に参加し、スタッフとの情報共有や患者さんが安楽に過ごすことができる環境づくりを行っています。

日本の緩和ケアの先駆者である日野原重明先生のメッセージの中に、「最高の死は、死にゆく本人の力だけで演じられるものではありません。家族、友人、医療に従事する者の、深い理解とバックアップが必要なのです。それがひとつになったとき、死は悲しいにはちがいないけれど、何かさわやかな、あたたかな、生き生きとした、いのちの受け渡しの機会となり、残される者の心にも感謝の思いが生まれるのです。」とあります。

当院では、平成27年度に日田玖珠地域で初めて緩和ケア病棟を開設します。緩和期における患者さんの生活の質(Quality of Life)を確保することはとても重要なことです。

医療人、そして人として、患者さんが再び、生きる意味や目的を見出すための習慣や役割を探索し、希望や楽しみを抱き、最後までその人らしく生活できるように患者さん、家族、そして関係者の方々と寄り添い、支援していきます。

患者様が作成した作品集



記事担当者／高野理恵

青年海外協力隊に参加して感じたこと

こどもデイサービス夢色 大塩 啓介



平成26年の6月からエルサルバドルに2年間青年海外協力隊作業療法士として活動してきました。帰国してはや半年が経ち、改めて今、協力隊の経験を通じ、何を感じたかをご紹介します。

南北のアメリカ大陸を結ぶ中央アメリカの小さな一国エルサルバドル。自分の活動は当然のことながらまず「どこだ、それ??」から始まりました。年中温暖な気候で治安は悪く、殺人率は日本の100倍と言われる国でした。

遠く離れた中南米の地で自分に何ができるのか?そして本当に役に立つのか?という希望と不安を胸に出国したことを今でも覚えています。

主な活動内容は国内NGO団体脳性麻痺児・者支援協会の同僚に対する日本の作業療法技術移転と活動先並びにエルサルバドル作業療法士の技術向上の貢献でした。

初めての海外、スペイン語、異文化の中で知り合いもおらず、同僚やホームステイ先の家族とうまくやっていけるのか?という不安の中、焦ってはいけません。こちらの考えを強制しに来たわけではない。何よりも自分が楽しもうと日々言い聞かせて生活していました。

書き出したらキリがありませんが、同僚療法士への治療援助や研修会開催などすべての活動がうまくいくはずもなく、何度も同僚と衝突を繰り返し、葛藤を重ね文化の違いなどを目の当たりにし、思いが伝わらず悔しい思いを何度もしました。

しかし、何度も周囲に助けられ、自分を見直し、日本について改めて多くのことを気付かされ、勉強することができました。おそらく、教えたことよりも学ぶことのほうが何倍も多かつ

たと思います。また作業療法士としての技術・考え方にとどまらず、ひとりの人間として成長できたと実感しています。2年間を通じて国内外で多くの友人と出会い、日本ではできない経験を積みました。

その中で満足できた点もあればそれ以上に後悔もあります。最終的には感謝という言葉しか出てきません。

今後は協力隊を経験したという結果ではなく、それをどう活かしていくのか、どう周囲に伝えていくのかを自分の新たな課題として作業療法士として生きていきたいと思っています。

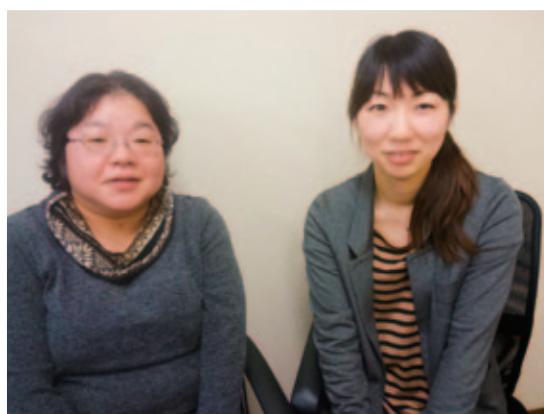
エルサルバドル●



大分県緩和ケア作業療法研究会の紹介

当研究会は、『緩和ケアの作業療法について知ろう！つながろう！』をテーマに、平成23年1月に発足しました。現在の主な活動は、①それぞれが参加した勉強会の伝達、②症例検討などです。“終末期・緩和期”と特別視する必要はありませんが、「死」を身近にした対象者やご家族に対して、「作業療法士として何ができるのか」などの振り返りから課題を抽出し、今後に繋がられるように話し合っています。メンバーそれぞれが持っている「想い」を共有することで自分自身の糧にしています。

大分県緩和ケア作業療法研究会は、毎月第4木曜日19:30から作業療法協会ビルで開催しています。どうぞ気軽に参加してください。



写真左から
研究会会長の太塚千枝さん(介護老人保健施設 サンテラスながとみ)
会員の川津理恵さん(高田中央病院)



がん征圧・患者支援チャリティーイベント

「リレー・フォー・ライフ・ジャパン2014大分」に参加しました

平成26年10月11日・12日の2日間に渡って大分スポーツ公園大芝生広場にて「リレー・フォー・ライフ・ジャパン2014大分」が開催されました。今回は「時を紡いで、ともに笑顔で」というテーマで開催され、ステージではサバイバーさんのお話やダンスなど毎年恒例の催しがあり、たくさんの方の笑顔や笑い声が見られていました。

今回、当チームのテント企画として、塗り絵での応援フラッグ作りを企画しました。人気キャラクターの塗り絵をいくつも作り、フラッグを振りながら笑顔で帰られる姿も多くみられました。今後も作業療法士として健康について考えながら引き続き活動を行っていききたいと思います。

平成26年10月11日(土)～12日(日)
大分スポーツ公園広場
大芝生広場



作業療法の啓発普及活動の紹介

＊2014年9月～2015年1月＊

作業療法の日 リハビリテーション相談窓口

日時：2014年9月21日(日)

場所：大分駅前

訪れた方からはリハビリテーション養成校についての質問や、地域での健康促進のための講話をするにはどこに頼めばよいかといった相談がありました。



センターまつり2014 & げんきフェア

日時：2014年11月2日(日)

場所：大分県社会福祉介護研修センター

出入りにクイズと相談窓口、ポスターを設置し、個室の中にはプラ板作成とフラッグ作成を用意しました。参加者は親子連れの方が多く、プラ板作成もフラッグ作成も大変好評でした。



大分大学開放イベント2014

日時：2014年11月3日(月)

場所：大分大学

プラ版とフラッグ作成を実施し、子供さんから学生、外国人の方に取り組んでももらいました。子供さんの作業活動に立ち会っているご両親に対して、リーフレットを用いて作業療法の説明を行いました。



春日まつり

日時：2014年11月9日(日)

場所：王子中学校

地域の方々とお話する機会が得られ、来場者の中には作業療法について認識されている方もいっしょに、春日まつりにおいて作業療法が浸透してきていることを実感しました。



大分県作業療法協会では、県民のみなさまの健康や福祉の増進に寄与できるよう、作業療法の普及啓発に努め、様々な事業に取り組んでいます。



わくわくたかだこどもフェスタ 作業療法ミニフェスタin豊後高田

日時：2014年11月9日(日)
会場：豊後高田市中央公園
リーフレット、ウエットティッシュの配布、フラッグ作成体験のブースを出しました。お子さんを中心にたくさんの方がブースに来場されました。



ふるさとまつり2014 作業療法ミニフェスタin豊後大野

日時：2014年11月9日(日)
場所：フレッシュランドみえ
ブース内での作業活動としてはうちわ作りを実施しました。「今年もぬり絵にきたよ」と言って下さったご家族もあり、地域の方との関係も築けていると感じることができ、継続して参加することの重要性を再確認することができました。



第25回とみくじマラソン大会 作業療法ミニフェスタin国東

日時：2014年11月9日(日)
場所：国東市陸上競技場
あいにくの天気でしたが、マラソンスタート後は雨が上がり、参加者のみならず見学者、ボランティアの大会関係者の方もブースに足を運んでいただくことができました。



杵築市産業祭・ みかん祭り

日時：2015年1月18日(日)
場所：杵築市健康福祉センター
初めての参加でしたが作業療法についての説明を多くの方にさせて頂きました。





33年目の独り言

社会医療法人敬和会
法人統括リハビリテーション管理部長

佐藤 浩二
(大分岡病院勤務)



作業療法士のみなさん、次の()内に適切な言葉・文章を入れて施設の紹介と自分の役割(仕事)を語ってみてください。

『私は〇〇法人△△病院の作業療法士の××と申します。当法人の理念は()で、基本方針は()です。特に今年は、()に取り組んでいます。法人の理念・基本方針に沿って、リハ科(課)の理念・基本方針は***と定めています。当リハ課(科)の特徴は()で、昨年度の実績では()でした。このようなことから課題は()にあると捉えて、今年のリハ課(科)の目標は()と設定して頑張っているところです。この目標は今年度の病院の目標とも深く関係しているところです。

冒頭、紹介したように私 作業療法士としてもこの目標達成に向けて()しています。就職して()年目ですが、専門技術職として積極的に法人(病院)の発展に貢献しています。また、この法人(病院)に就職して日々社会人として、また医療人として育てられていると実感しています。近い将来、()することが私の目標です。

最後に作業療法士のことについて一言説明させていただきます。作業療法とは患者さんや利用者に対して()する仕事です。そしてこのような関わりを行う専門技術職が作業療法士です。リハビリテーションは、単に作業療法だけで成立するものでもなく、また成果があがるものでもありませんが、()の面からはとても大事な仕事と誇りを持っています。』

県民の皆様、いかがでしょうか？ 文章の展開そのものの良し悪しは別にして、このような語りができる作業療法士は、学問的にも、当然社会人としての謙虚さも併せ持った優れた人物だと思います。作業療法士の所属している組織によっては、このような展開にはならないかも知れませんが、少なくともこのような要素を踏まえた語りを意識できる作業療法士ならば、職場に、そして地域に作業療法を根づかせることができるであろうと考えます。

このような語りができる作業療法士を今後も育てていきたいと思います。

啓発普及活動

【事業部】

「作業療法の日」リハビリテーション相談窓口

日 時：平成26年9月21日(日) 9:30～11:30

場 所：大分駅前

センターまつり2014&げんきフェア

作業療法体験・相談コーナー設置

日 時：平成26年11月2日(日) 10:00～15:00

場 所：大分県社会福祉介護研修センター

大分大学開放イベント2014

作業療法体験・相談コーナー設置

日 時：平成26年11月3日(月) 9:00～16:00

場 所：大分大学

わくわくたかだ こどもフェスタ 作業療法ミニフェスタin 豊後高田

日 時：平成26年11月9日(日) 10:00～15:00

場 所：豊後高田市中央公園

春日まつり 作業療法体験・相談コーナー設置

日 時：平成26年11月9日(日) 8:30～14:00

場 所：王子中学校 体育館

ふるさとまつり2014 作業療法ミニフェスタin 豊後大野

日 時：平成26年11月9日(日) 10:00～14:00

場 所：フレッシュランドみえ

第25回 とみくじマラソン大会 作業療法ミニフェスタin 国東

日 時：平成26年11月9日(日) 8:00～14:00

場 所：国東市陸上競技場

杵築市産業祭・みかん祭り 作業療法体験・相談コーナー設置

日 時：平成27年1月18日(日)

場 所：杵築市健康福祉センター

他団体主催事業

公益財団法人 日本対がん協会主催

リレーフォーライフジャパン2014大分 参加

日 時：平成26年10月11～12日 10:30～10:00

場 所：大分スポーツ公園

研 修 会 等

【教育研修】

臨床実習指導者育成道場 ① (参加者11名)

日 時：平成26年10月5日(日) 9:30～16:40

場 所：佐伯中央病院

内 容：① 講義「臨床実習とは」

講師：後藤 英子(常務理事/大分リハビリテーション専門学校)

② 講義「近年の学生の傾向 臨床実習における最低基準」

講師：藤原 肇(事務局長/藤華医療技術専門学校)

③ グループワークⅠ

④ 講義「臨床実習指導方法論」

講師：梅田 大樹(衛藤病院)

⑤ グループワークⅡ

臨床実習指導者育成道場 ② (参加者11名)

日 時：平成26年11月21日(金) 19:30～21:30

場 所：佐伯中央病院

内 容：① グループワークⅢ ② 課題発表 ③ フィードバック

制度対策研修会Ⅰ (参加者38名)

日 時：平成26年12月14日(日) 10:00～12:30

場 所：大分リハビリテーション専門学校 作業療法士科棟

内 容：講義「作業療法の今とこれからを考える～診療報酬、各種法制度改定にむけて」

講師：高森 聖人(会長/株式会社 空色 こどもデイサービス夢色)

日隈 武治(副会長/別府リハビリテーションセンター)

管理運営に関する研修会

日 時：平成27年1月18日(日) 9:30～11:30

場 所：ホルトホール大分

内 容：講義「リスクマネジメントについて ～事例を通して～」

講師：日隈 武治(副会長/別府リハビリテーションセンター)

【地域研修】

平成26年度 地域ケア会議助言者情報交換会Ⅱ (参加者19名)

日 時：平成26年12月10日(水) 19:30～21:30

場 所：井野辺病院

内 容：① 講義「原点復帰～他県からみた大分県の現状」

講師：佐藤 孝臣(副会長/株式会社 ライフリー 代表取締役)

② 事例を通してのグループワーク ③ 情報交換及び総括

【学術研修】

生活行為向上マネジメント研修会③ 実践コース (参加者41名)

日 時：平成26年10月19日(日) 10:00～12:00

場 所：ニューライフプラザ

内 容：生活行為向上マネジメントの役割

講 師：佐藤 孝臣(副会長/株式会社 ライフリー 代表取締役)

発表者：大田 繁(高田中央病院)

大塚 悠貴(黒木記念病院)

渡邊 誠司(大分大学医学部附属病院)

ファシリテーター：佐藤 友美(総務部長/介護老人保健施設 健寿荘)

作業療法実践セミナーⅡ (参加者37名)

日 時：平成26年12月7日(日) 10:00～15:00

場 所：コンパルホール

内 容：終末期・緩和ケア期の作業療法(基礎知識とリスク管理・連携)

講 師：東谷 成晃(戸畑リハビリテーション病院)

発表者：徳田 幸之介(コスモス病院)

古澤 将大(介護老人保健施設オアシス宇佐)

狩生 和幸(訪問看護ステーション長門)

川津 理恵(高田中央病院)

作業療法実践セミナーⅢ (参加者32名)

日 時：平成26年11月9日(日) 10:00～13:00

場 所：コンパルホール

内 容：抑うつ状態への対応と作業療法

臨床に生かすための気づきと視点

講 師：山下 瞳(学術研修部長/大分大学医学部附属病院)

作業療法実践セミナーⅣ (参加者25名)

日 時：平成26年12月21日(日) 10:00～15:00

場 所：ホルトホール大分

内 容：地域が求める発達障がい児・者への支援を知ろう

～いま作業療法士として何ができるのか～

講 師：高野 啓子(大分市教育センター エデュサポートおおいた 室長)

発表者：武廣 茂樹(大分こども療育センター)

ファシリテーター：黒崎 浩(大分療育センター)

第13回 大分県作業療法学会 (参加者213名)

日 時：平成27年1月25日(日) 9:30～16:30

場 所：コンパルホール

テーマ：地域包括ケアシステムの実現に向けて

～作業療法士がその先に見るものとは～

① 特別講演：「介護予防とヘルスプロモーションにおける

作業療法士の役割 ～健康増進のための支援～」

講 師：安本 勝博

(作業療法士/岡山県津山市こども保健部健康推進課 主査)

② 講演1：「杵築市の挑戦 介護予防・日常生活支援総合事業に

おける取り組み」

講 師：江藤 修(杵築市高齢者支援課 課長補佐)

③ 講演2：「作業療法士一人一人が果たすべき役割

～地域包括ケアシステムを推進するために～」

講 師：佐藤 孝臣(副会長/株式会社 ライフリー 代表取締役)

④ 一般演題発表(20演題)

⑤ 学会長賞表彰式

支部活動

臼杵・佐伯支部 合同事例検討会 (参加者42名)

日 時：平成26年10月24日(金) 18:30～20:00

場 所：佐伯中央病院

発表者：七朗丸 恵(コスモス病院)

狩生 和幸(訪問看護ステーション長門)

ファシリテーター：五条 亜寿佳(鶴見の太陽)

大分東支部 事例検討会 (参加者29名)

日 時：平成26年10月30日(木) 19:00～21:00

場 所：大分岡病院

発表者：三重野 かおり(明和記念病院)

池田 理絵(大分東部病院)

ファシリテーター：萩野 一正(大分岡病院)

大分西支部 事例検討会 (参加者48名)

日 時：平成26年11月14日(金) 19:00～21:30

場 所：大分三愛メディカルセンター

発表者：橋本 夏紀(大分記念病院)

大塚 智史(わさだケアセンター)

ファシリテーター：桑原 奏恵(諏訪の杜病院)

大野・竹田支部 合同事例検討会 (参加者33名)

日 時：平成26年11月20日(木) 19:00～21:00

場 所：竹田医師会病院

発表者：佐藤 美里(ニコニコ銘水苑)

日野 志穂(大久保病院)

ファシリテーター：曾根崎 圭太(みえ病院)



心豊かに

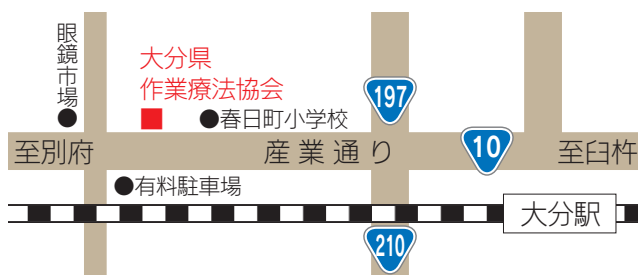
作業療法

作業療法士は、

そのひとの人生が生き生きとしたものとなるよう、仕事、遊びなどの日常生活のなかでの活動(作業)をとらして、こころとからだを元気にするリハビリテーションの専門職です。



リハビリテーションのことや、作業療法
のことで分からなかったり、お困りのこ
とがありましたら、右記までご連絡くだ
さい。



公益社団法人 大分県作業療法協会

〒870-0038 大分県大分市西春日町3-2 大分県作業療法協会ビル

TEL:097-547-8662 FAX:097-547-8663

<http://www.oita-ot.com>